平成27年度 長野市 男女共同参画 優良事業者ご紹介

長野市では男女が共に能力を発揮しやすい職場環境づくりの観点から、働く人がそれぞれの状況に応じて多様で柔軟な働き方が可能であるなど、職場における男女共同参画の取り組みを積極的に行っている市内の事業者（従業員300人以下）を毎年表彰しています。平成27年度は、川中島建設株式会社が優良事業者賞を受賞しました。

表彰式には、川中島建設株式会社から代表取締役常務の寺澤正雄さんと、営業部主任の井浦麻美さんが出席しました。

表彰式の様子

選定理由

- 性別にとらわれない職域の拡大などを積極的に行っている
- ワーク・ライフ・バランスの視点から、働く者がその状況に応じて多様で柔軟な働き方を可能としている

川中島建設株式会社は創業明治40年。従業員数55人。女性は6人でそのうち4人が子育てをしながら働いています。建設業には大きく分けて「建築」と「土木」があり、川中島建設では土木の仕事が9割をしめます。建築分野では女性が増えていますが、土木分野に女性はまだ少ないのです。

✤ 極めたい！

表彰式に出席した井浦麻美さんは中学1年生を頭に4人の子供の母親で、平成15年度に、社内で最初に育児休業制度を利用しました。毎朝玄関先で子供たちが見えなくなるまで見送ってから出勤。入社当初は土木部に配属、男性ばかりの現場で施工管理をしていました。現在は豊富な現場経験を生かし入札物件の積算業務などにあたります。将来について尋ねると「子供を一番に考えているが、仕事で毎日学ぶことがあり『まだまだ』って思う。土木を極めたい。完璧主義なんです（笑）」。井浦さんは今年、コンクリート技士の資格取得を目標に勉強を重ねています。

〔経歴〕平成8年川中島建設株式会社入社（土木部配属）　※現場代理人として現場を取り仕切る　平成17年積算業務に移行
※入札のための工事価格の積算にあたる

〔資格〕1級 土木施工管理技士、1級 造園施工管理技士、他

取材中の寺澤さん、井浦さん

✤ 女性の働き方でボスの意識が変わる

代表取締役常務 寺澤正雄さんは「女性は子供のお迎えなど制約がある人もいるが、だからこそ時間内にきっちり仕事をしている。遅くまで仕事をしてきた僕ら男性社員は、女性の働き方から学ばないといけない。そのためには、従業員とその家族を含めた家庭の意識を変えていくことが必要」と考えています。

女性の働き方が会社の上層部の意識を変え、男性の働き方の見直しへと向かう。土木業界に、女性からの風が吹き始めています。

取材レポート 川中島建設 百年企業がつむぐ男女共同参画

従来から、男女問わず個性と能力が十分に発揮されるようサポートをする土壌がありましたが、平成26年より次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を策定し実践をされています。育児・介護諸制度の整備と周知、所定外労働時間の削減、次世代育成支援等、一人ひとり一つひとつの積み重ねが男女の輝きをつむぎ、その輝きが企業を照らすという好循環が起きています。

特定社会保険労務士 中川美紀さん（編集委員）

かがやく明日のために
With You NAGANO
Vol.54
+++編 集+++
With You編集委員
+++発 行+++
長野市男女共同参画センター

長野市男女共同参画情報紙「With You」は、男女共同参画社会づくりに向け、市民編集委員が様々な視点から情報を発信しています。今回は、ワーク・ライフ・バランスからイクボス・温かボス（あったかボス）にスポットをあててお伝えします。

ワーク・ライフ・バランス講座「共働きの経済学」が開催されました！

長野市男女共同参画月間中の7月3日（日）、勤労者女性会館しなのきにて、ワーク・ライフ・バランス講座が開催されました。講師は大竹文雄さん（大阪大学社会経済研究所教授）。出演されているテレビ番組の裏話も交えて、経済学からみた「ワーク・ライフ・バランス」について講義いただきました。参加者からは「普段の生活を経済学から考えると非常に分かりやすく、夫婦間での家事分担、ワーク・ライフ・バランスのヒントをいただきました」と感想をいただきました。

大竹文雄さん

一方でこんな切実な感想もいただきました。
「共働きの一番の問題はやはり長時間労働だと思います。企業が長時間労働を抑制できない限り家事分担は厳しいです」

個人でワーク・ライフ・バランスを進めるには限界がある？「イクメンしたくても早く帰れない…」

男性からは、こんな声も聞こえてきます。内閣府男女共同参画局の資料によりますと、世界的に見ても日本では男性の帰宅時間が遅く、夜8時以降に帰宅する人は6割を超えています（日本61.5%に対しフランスは26.6%、スウェーデンは1.8%）。これでは、いくらイクメンしたくても叶いません。個人による取り組みだけではワーク・ライフ・バランスの実現とはいきませんね。そこでカギとなるのは「イクボス・温かボス（あったかボス）」の存在です。

受講レポート 編集委員より

共働きを大変なものにしている要因として「3つのズレ」（認識のズレ・価値観のズレ・社会とのズレ）があるそうです。中でも、認識のズレが印象に残りました。「夫は家事に参加している？」という問いに、「している」と答えた妻は55%だったのに対して、夫は70%という調査結果があります。つまり、妻が感じる以上に夫は「自分は家事をしている」と高い評価しているのです。心理学では「自己奉仕バイアス」というそうです。認識のズレを解消していくには、妻と夫が日常的に話し合いをすることが大事だと感じました。

長野市長「イクボス・温かボス（あったかボス）宣言」

9月9日、加藤長野市長がイクボス・温かボス（あったかボス）宣言をしました。

「イクボス・温かボス（あったかボス）宣言」とは？

企業、団体、教育機関、NPO、行政等の事業者、管理職等が従業員や部下の仕事と子育て・介護の両立支援を「イクボス・温かボス宣言」として宣言し、職場におけるワーク・ライフ・バランスや多様な働き方の推進等に取り組むものです。

「イクボス・温かボス（あったかボス）」宣言をしませんか

将来の イクボス 温かボス

私には、子育て期間のため短時間勤務の部下がいます。できる人なので、彼女が中心となって他のメンバーがサポートする体制で仕事を任せました。その結果、時間管理を徹底し、情報共有をしっかり行い、頼られる存在になっています。人を育てるためには、「信じて任せる」そしてサポート体制（安心できる環境）をつくることが大切と感じています。

（部下をもつ編集委員の声）

お問い合わせ ● 長野市男女共同参画センター　TEL：026-237-8303
〒380-0814長野市大字鶴賀西鶴賀町1481-1　長野市勤労者女性会館しなのき内　FAX：026-237-8304　Eメール：danjo-c@city.nagano.lg.jp　HP：http://www.city.nagano.nagano.jp/

次回は3月号に掲載です

✤ 国際ソロプチミスト長野-みすず様より書籍を寄贈していただきました。男女共同参画センター情報コーナーで閲覧いただけます。貸し出しもしています。皆様のご利用をお待ちしております。